

ロンドン・イギリス

木村玲二

2017年8月、プライベートで1週間ほどロンドンに滞在しました。私は仕事で乾燥地に行く以外、プライベートな海外旅行というものをしたことがなかったので、楽しみにしていました。特に、私の寵愛するパンクロック発祥のあこがれの地です。

フランクフルト経由でロンドンのヒースロー空港に到着。滞在する間の地下鉄乗車のため、オイスターカード（日本でいう **suica** みたいなものです）を購入し、地下鉄に乗りしました。ロンドンでは地下鉄のことを **Tube** と言います。なるほど、形が **Tube** のようで、しかも中の天井が日本の電車に比べて低いです。地下鉄はロンドンの主要な観光地をほぼ網羅しているので、滞在中は移動手段として助かりました。



お世話になった Tube



English breakfast

宿泊先は、ビクトリアラインのピムリコ駅の近くです。ちょっとしたパブや大学の校庭、並木、教会など、とても美しく過ごしやすい町でした。食事についてですが、昼間は出かけ先のレストランなどで食べますが、料金が高いので、夜は食材を定番の **Waitrose** や **Marks & Spencer** で購入し、ホテルで自炊しました。特に、**M&S** には大変にお世話になりました。リンゴやブルーベリー、オレンジ、イチゴなど、果物が意外に安くおいしいので重宝しました。食べる気満々だった **English breakfast** やフィッシュ&チップス、サンドイッチはボリュームたっぷりです。本当においしかったです。スペインに滞在した時も思ったのですが、前世はこっちの人だったに違いない（必ずしも人ではないかもしれませんが）と思わせるほど、食事は口に合いました。

ロンドン市内では、定番のピクベン、ウエストミンスター寺院（ニュートンやダーウィンのお墓があります）、大英博物館、セントジェームスパーク、バッキンガム宮殿（偶然にも衛兵交代式を見ることができました）、ナショナルギャラリー（ゴッホのひまわりが有名です）、テムズ川をリバーボート（水上バス）で渡ってグリニッジ天文台（私の好きなカティーサーク号が近くに展示してあります）、などを見学しました。印象に残っているのは、多国籍であること、寺院や宮殿の豪華さ、そして大英博物館にある世界中から収集したコ

レクションです。大英帝国の権力とその歴史を垣間見ることができただけでも今回の旅の収穫でした。



古代メソポタミア、アッシリア帝国の繁栄を今に伝えるレリーフ。射られたライオンの悲しげな表情が心を打ちます。



グリニッジ天文台の経度0度線。失礼ながら跨ぎました。

市内観光だけでなく、現地のツアーを利用して、バスで郊外に出かけたのも私にとって印象深いものになりました。夏だというのに寒かったストーンヘンジ、バースの街並み（バース寺院、ロイヤルクレセントなど）、レイコック村（ハリーポッターのロケでも使われたレイコック寺院など）、ドーバー海峡、カンタベリー大聖堂、リーズ城など見学しましたが、最も印象に残っているのは牧草地や湿地の風景、そして教会です。郊外はほぼ牧草地なのですが、なにげに放牧されている羊や鳥の群れに心が癒されました。教会はたくさん観光客がいるにも関わらず、とても静かで、神聖で、美しく、1日中いてもいいくらい素晴らしい場所でした。



バースの街並み



レイコック寺院と羊の群れ

さて、肝心のパンクロック発祥とでも言うべきストリートやドミニオンシアター等には同行者の優先順位から外れ、訪問できませんでした。今度、仕事で行ったときにでも楽器屋さんも含めて訪問したいと考えています。プレミアリーグ観戦も是非。



教会のステンドグラス。
Story になっています。



公園になにげにいるリス。
かわいいです。